

# 子どもが求める応援に関する一考察 ～スポーツ少年団に着目して～

一ノ瀬 華奈 (生涯スポーツ学科 学校スポーツコース)  
指導教員 柴田 俊和

キーワード：応援，子ども，保護者，スポーツ少年団，自尊感情

## 1. 緒言

近年、「自尊感情」という言葉が良く聞かれ、スポーツ少年団も子どもの居場所の1つとされるようになった。自尊感情の育成のために、コンピテンス動機づけ理論（子どもの努力について大人が肯定的なフィードバックをすることで、子どもの肯定的感情を発達させる）という考え方がある。この理論からいうと、スポーツ活動における保護者の応援は、子どもの自尊感情に大きく影響すると考えられる。

研究の動機は、筆者がスポーツ少年団の指導者をしていく中で、試合中における保護者の応援が子どものプレーに大きく影響すると感じたことである。

研究目的は、子どもがよりよい環境でプレーができるような応援の在り方を探ること、教師として子どもを応援する際のポイントを探ることである。

## 2. 研究方法

- ①インタビュー調査：指導者に対してインタビューを行い、指導者と子どもが求める応援の違いについて調査した。
- ②アンケート調査：スポーツ少年団に所属する子どもが求める試合中の応援について調査した。

## 3. 結果と考察

### 1) 指導者へのインタビュー調査について

- ・望まない応援は、我が子への指導的な声掛け・貶す言葉、退席すること。
- ・求める応援は、我が子への応援よりも、チーム全体を盛り上げるような応援。

### 2) 子どもへのアンケート調査について

- ・望まない応援は、「応援がない・応援しない」こと。

- ・求める応援は、「団で決められた応援」、「褒める」、「大きな声」、「怒らない」、「前向き」とでている。

考察の結果、試合中に子どもが求める応援とは、勝っているときは、「団の応援」や「大きな声」、負けているときは、「励まし」や「褒める」ことである。

また、保護者が試合に観に来ること自体が嬉しいという回答が多かったことから、子どもが求める応援の一つとして、子どもの側に居ることも挙げられるであろう。

しかし、アドバイスの声かけに対して、指導者と子どもとは矛盾があるということがわかった。このことから、試合中における指導者と保護者の役割を明確にしておく必要があるといえる。

## 4. まとめ

試合中に子どもが求める応援のあり方とは、親の自己満足は捨て、子どもの自尊感情を高めるように、褒めて、励まして、感謝して、子どもに「安心」を与える応援である。今回の研究では、保護者の応援のあり方について調査をしてきたが、この調査結果は、教師を始め、子どもと関わるすべての人が心に留めて置くべきことであろう。

### 引用・参考文献

石山貴章, 久崎孝浩 (2012) スポーツに参加する子どもの心理的発達に及ぼす大人の影響：その研究動向と今後の方向性, 応用障害心理学研究 第11号：45-67.